



楽楽 Rakulaku

<http://asahikon.sakura.ne.jp>

◆練習スケジュール◆

月 / 日		会 場	時 間	備 考
12月	8日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	
	15日(土)	//	//	
	22日(土)	//	//	※歌い納め
H31年 1月	6日(日)	新年会 (スカイワードあさひ) 12:00~		2ページご覧ください
	12日(土)	旭丘公民館	19:00~21:00	※歌い始め
	19日(土)	//	//	
	26日(土)	//	//	
2月	2日(土)	中央公民館(306)	//	
	9日(土)	旭丘公民館	//	
	16日(土)	//	//	
	23日(土)	//	//	
3月	2日(土)	//	//	
	9日(土)	//	//	
	16日(土)	//	//	
	23日(土)	//	//	
	30日(土)	//	//	

(注) 備考欄 P練習=パート練習 V.T.=ヴォイストレーニング 特練=特別練習 です。

※ V.T.とは = 全団(男・女)で取り組む、トレーナー指導による発声練習です。

※ P練習とは = パート単独での自主練習です。(通常練習の補足です)



歓迎

新入団員の紹介

よろしく



テナー 沼田重喜さん、 小沼順一さん(11/10見学、12月から入団)

瀬戸フェスティバルについて

来年の瀬戸合唱フェスティバルは瀬戸市文化センター耐震工事のため
4月7日(日)に開催されます。

旭混声合唱団も参加しますので、ご予定ください。

新年会のお知らせ

毎年恒例の新年会を下記の通り、開催します。

新年から楽しく、食べて、飲んで、歌って、踊って…過ごしたいと思います。

是非、ご参加下さい。

日時：1月6日(日)12時～

場所：レストラン スカイワード

会費：5,000 円（当日集金します）

※出欠は12月22日までに、パトマネさんにお伝え下さい。

※出し物をされる方は、12月15日までに、伊藤まで連絡をお願いします。

ご不明な点は、レク係 伊藤まで

アルト新入団・移籍団員歓迎会

11月21日 江戸芝にて開催しました。

この笑顔を見れば、盛り上がり具合も察していただけるかと。

歌うときもこの表情で行きたいね～♪



新入団 : 安藤キヌ子さん、川合喜穂美さん、村田美佐子さん
ソプラノから移籍 : 藤田みさきさん、森ゆき子さん

ソプラノ 移籍団員送別会＋新入団員・復帰団員歓迎会

11月17日(土) サンマルクにて開催しました。

移籍団員 ・森ゆき子さん

・藤田みさきさん

新入団員 ・酒井智恵子さん

復帰団員 ・高橋まゆみ

智恵子さん、入団して一年以上も経ってました。ごめんなさいい。

ゆき子さん、一時的移籍。お早いお帰りを待ってまーす。

みさきさん、素敵な置きみやげメッセージをありがとう！

「clever に！ elegant に！」ソプラノ一同頑張りまーす。

そして、高橋の復帰はオマケでーす。 よろしく v(*^_^*)♡



今日のつぶやき

初めて、一人ひとりが皆さんの前で声を出すという事をしました。旭混声は、パートは自己申請のままでしたが、より良い演奏をするためには、会社でいうところの適材適所で歌ってもらいたいと思います。また、入団のお誘いをするときは、パート分けがあり、ボイストレーナーか私が声を確認して決めるとお話しして下さい。

一人で歌い、「この人こんな声なんだ」とお互い思ったと思います。あまり経験のないことだったと思います。これが、今後の上達につながればよいと思っています。

また、先生がお手本で歌っているときは、きちんと聞いて下さい。録音されている方は、先生のお手本、指摘内容を録音し、自分の歌うところだけでは意味がないので、そこそこ宜しく願います。

まさよ

！！団員ページパスワード変更！！



Home Page だより



団員のページに時々不正アクセスがあります、
防止策として 団員ページのパスワードを

asaohana に変更します

2019年1月1日に更新しますのでよろしくお願いします



コンサート情報



尾張旭市民合唱団第13回ニューイヤーコンサート

♪混声合唱のための童謡メドレー「いつの日か」

♪「ヨハン・シュトラウスの世界」 吉川 朗混声版再編曲 他

指揮:吉川 朗 ピアノ:片山奈津

とき:2020年1月19日(土) 15時開演

会場:守山文化小劇場

入場料:1,000円(全自由席)

※ゲスト・ステージで毛利和雄先生が出演されます！

※酒井智恵子さん、安藤キヌ子さん、川合喜穂美さん、

村田美佐子さん、安藤矩康さん、近藤鉦太郎さんが出演されます！



旭混声合唱団 第11回演奏会

ひとこと集

♪～演奏会を終えた団員の思いをまとめました～♪





第11回演奏会データ

と き : 2018 年10月14日(日) 13:30開場 14:00開演

会 場 : 瀬戸市文化センター 文化ホール

来場者数 : 866名

指 揮 : 神谷伸行先生

ピ ア ノ : 伊藤美砂子先生

ソプラノ : 金原聡子さん

バリトン : 林 剛一さん

フォーレ記念合奏団:

VI. 矢口十詩子さん

Vla. 石橋直子さん・小泉理子さん・小林伊津子さん・杉山光太郎さん

Vc. 幸田有哉さん・野村友紀さん

Cbs. 佐渡谷綾子さん

Hr. 安土真弓さん・津守隆宏さん

Hrp. 近藤 薫さん

演 奏 曲 :

I 混声合唱とピアノのための『出発の歌』 —1971年生まれのポップ・ソング—

翼をください 花嫁 虹と雪のバラード 戦争を知らない子供たち 出発(たびだち)の歌

II 東日本大震災復興支援 “復興への祈り”

ほらね、貝殻のうた 群青 今、ここに 夜明けから日暮れまで

III Requiem op.48 G.Fauré ~1893年 J.Rutter 版~

Introit and Kyrie/Offertory/Sanctus/Pie Jesu/Agnus Dei/Libera me/In Paradisum

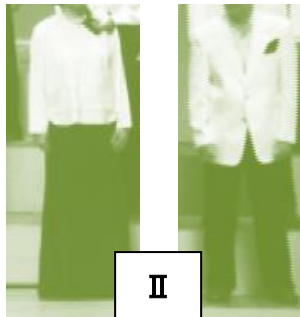
衣 装 :



I

女: 白ブラウス・コサージュ・紅スカート

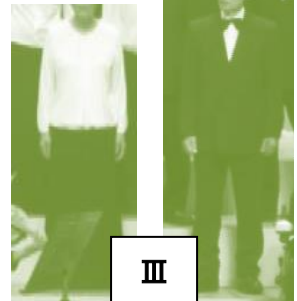
男: ピンクシャツ・黒ズボン



II

女: 白ブラウス・コサージュ・紅スカート

男: 白ブレザー・ピンクシャツ・黒ズボン・
ポケットチーフ



III

女: 白ブラウス・黒スカート

男: 黒上下・白シャツ・黒蝶タイ



ひとこと集

《順不同 敬称略 原文のまま》

先生から教わった「2 階の非常口の人形マークに声を届けましょう。」と、歌っていました。
と、目線の行く途中に、客席に知り合いを見つけた途端、非常口への想いは消え去り、知り合いに向けて歌う始末。雑念一杯の舞台だった？と反省しながらも、自分なりに遠くに声を飛ばそうと努力していたと思っています。
そして、自分の立ち位置へ向かうときと、終えて袖に帰るときの足取りの違うことにビックリしました。行くときは力強く踏みしめて進めたのに、帰るときはヨタヨタと段を踏み外しそうでした。
精一杯、体力を使い切った証と思っています。
ありがとうございました。

アルト 安藤キヌ子

暗譜で臨んだ演奏会でした。歌うことに不安なく暗譜万歳です。ソプラノ PL として、響きが一本になっているか？ピッチは落ちていないか？聞こえてくる地声はお客様に聞こえていないか？他パートの声を周りの声を一生懸命きいてハーモニーを確認した演奏会でした。歌っている幸せより神谷先生と伊藤先生と 50 人の仲間で作っているハーモニーの中にいる幸せを感じた演奏会でした。ご一緒頂いてありがとうございました。

ソプラノ 久野希見子

今回の演奏会は、気持ちよく楽しく歌えたことに満足しております。各自が前向きに練習を重ね、頑張った成果だとも思います。こんなに数々の素晴らしい歌にかこまれこんなに素晴らしい仲間と共に歌えたことに感謝です。うたうことの喜びを大切にこの喜びを明日へのエネルギーにとおもいます。各先生方、スタッフの皆さんありがとうございました。次なるステージに向け頑張りましょう！

アルト 大栗耐子

演奏会は観客の前での演奏はテンションが上がり、一番良い出来でした。
次回に向かっては一人一人がまわりの声との調和に気をつけ、とけ合うハーモニーを目標に今より素晴らしいものにしたいです。
提案ですが自分を知る為に少人数で簡単な曲を合わせる練習をしたらどうでしょうか？自分を客観的に聞く機会となると思います。

ソプラノ 井上徳枝

当初からフォーレは厳しいと覚悟して臨んだ曲でした。歌うのと、演奏するのでは全く違います。本当に暗譜でいいのか、悩みました。今でも暗譜がよかったかは疑問です。第一ステージ、第二ステージはすべて公開リハーサルを行い、できる限りのことをやったつもりです。しかし、自ら風邪をひくという不始末、ただただ申し訳なく思います。前日のリハーサルで初めて、客席できいていて、特に二階に飛ぶ声は素晴らしいものでした。一階のほうが個人の生々しい声がきこえ、今ひとつな感じでした。
天候もよく、お客さんもたくさん入り、よかったです。演奏会の担当の方々、ありがとうございました。お疲れ様でした。

アルト 伊藤雅代

何時ものことながら、出来不出来は別にして終わったあとの高揚感で満たされた一日でした。曲の選定や構成は良かったと思います。
レクエムは基督教の文化が DNA にある欧州人と日本人の差があると思いますが、私にとって一番の歌ではありませんでした。レベルの高いソリストや楽団の人たちに出演して頂いて、ソリストの持ち時間が多くなく、もったいない感じ、ゲストステージをもうけてもいいかなと思いました。

ベース 近藤鉦太郎



初めての旭混声での演奏会、とても楽しく歌わせていただきました。ゲネプロでは間違えたけど、本番では良かった。ヤッター！！

神谷先生、そしてご指導下さった諸先生、アルトの伊藤さん、スタッフの皆様、団員の皆様に感謝です。

ソプラノ 酒井智恵子

幸せな時間でした。

先生ありがとうございました。皆さん、ありがとうございました。正直なところ私には、気持ちの余裕がなく家で練習する気が起きません。高齢ですが、今しばらくいっしょに歌わせて下さい。団での練習時間が楽しみです。

ソプラノ 林 優美子

旭混声では、2回目の演奏会を経験させていただきましてありがとうございました。

また、練習中も含め多くの方にサポートをしていただき、今回の演奏会の舞台に立つことができました。この場をおかりし厚くお礼申し上げます。

前回の記念演奏会の時もそうでしたが、暗譜に相当苦労しました。前回に比べ家でCDやスコアプレーヤなどで多くの時間練習したと思っていたのですが、年のせいだと思いますが、やっぱり自分の思う暗譜のレベルには達することなく本番をむかえてしまいました。

心配した通り、歌っている最中に、いくつかの歌詞や旋律が自分の頭から飛んで、消えてしまいました。すいませんでした。

今後は、もっと練習し皆さんについていきますのでよろしくお願いします。

ベース 近藤 新二



最強のおやし達・・・

第8回、第9回と実行委員長を務め、第10回、第11回は波多野さん、若杉さんに実行委員長をお引き受けいただきました。

女性ならではの、お気遣いの細やかさに、感服しております。

今回の演奏会は、多数の聴衆に恵まれて大成功だったと思います。

これも実行委員長をはじめとする実行委員と団員の皆様の熱心な活動の賜と感じました。

もちろん、アンサンブルのレベルアップに根気強い御指導を頂いた先生方も忘れてはおりません。次回も成功だったねと言える演奏会をしたいですね。

テノール 合瀬弘正

全てよかった。終わってホッとした。いろいろな方々に、特にテノールの皆様には、お世話になりっぱなしで感謝しています。それにしても本番に強い合唱団ですね。歌詞も間違えず、音程もよかったと思います。最後のアンコールまで気持ちよく歌うことができました。諸々のことに感謝、感謝です。次回にはブルックナーのミサを個人的には歌いたいです。まあ神谷先生が何をやりたいかということが一番肝心ですね。何になるか楽しみです。

テノール 田坂雄一



今回の演奏会を終え、正直ホットしております。暗譜は必要とは思いますが、歌詞だけの暗譜では無く、音楽的テクニックの暗譜が大切だと思います(私の事)。一曲一曲書かれている内容が違うのだけれど、聴く側からすると、同じような歌に聴こえてしまう。(声の音色、感情の入れ方等)曲間に朗読などあっても、第2ステージの曲などは今後も通常練習、他の場所でも歌っていききたいものです。良い曲は団の宝です。

テノール 藤 淳磨

暗譜に不安を感じながらステージに立つ。指揮者の巧妙な誘導で不安は消える。最後のステージ、憧れの Faure やや気負いを感じながら最初の和音を待つ、機は熟した…。気負いが過ぎたか、練習不足か、浮き足立って上滑りを感じる。聴衆の一人は「男声がオケと合わない部分が…」又こうも言った「ソロ先行の Libera me は良かった」とも。そう言えば、＜バルトンソロに導かれて、あのあたりから気分が安定的に昂揚した＞そして、＜最後の InParadisum で、天上からの静謐な響きに模したかのような歌声が心に沁みた＞と感じた。そして、思った。
「終わりよければすべてよし。」

テノール 林 丁三

最終曲を歌い終わった時、ホッとしたというのが正直な感想です。「しなければならない事」「してはいけない事」が頭の中を駆け巡り、本当に緊張した舞台でした。しかし歌いながら、その美しいハーモニーの中に身を置き、この合唱団に入団でき良かったなあと感動しておりました。これからは、もう少し余裕を持って、一曲、一曲を楽しみながら歌えるよう努力していきたいと思っております。有難うございました。

テノール 安藤矩康

今回、初めて演奏会に参加させて頂きました。
昨年12月に入団し、当時は孤独でした。音取りCDで練習しても、不安一杯でドキドキの連続でした。でも団員の皆様からは、音取りCDを準備して下さったり、進行状況を確認して下さい、練習を増して下さい、多くのご指導と優しさを本当に沢山、沢山頂きました。
本番ではこれまで経験したことのない「思いつき声が出せて歌えた」という充実感で一杯でした。
打上げパーティでは『感謝』の一言しか無い」と答えました。
私が演奏会に出席できたのは、神谷先生はじめ団員の皆様のお陰です。改めて、皆様に感謝申し上げます。有難うございました。

アルト 川合喜穂美

今回の演奏会は私としては2回目ということもあり、割とリラックスして臨むことができたと思います。ただフォーレの暗譜に関しては、最後まで自信がなかったのですが、先輩方にリードしていただいたおかげでなんとかこなすことができ感謝しております。
知人(音楽関係)は、「全曲暗譜はスゴイね」「男声の人数が少ない割によく声がでていた」などの褒め言葉の反面、「全体に表情が硬い」との指摘も。「暗譜にこだわらなくても楽譜を持って歌えば(確認のために楽譜を持つということ)もっと余裕ができるのではないか」とのことでした。
また、自分たちが歌っているのを客席から聴くことはできないので、今回試しに前日のリハーサルを客席から録音してみたのですが、普段の立ち位置から聴こえるのと随分違うので改めて新鮮に感じました。録音は1・2部のみだったので、オケが入るフォーレも聴いてみたかったと思いました。

テノール 長江秀樹

リハーサルで1・2ステージの曲を神谷先生指揮・伊藤先生伴奏で通して歌ったときに本番への手応えを、団員の気持ちが一つになれたのを実感できました。私の不安が縮小されたことも。演奏会に無事参加できたことは本当に幸せでした。多くの方々に心から感謝いたします。ありがとうございました！

アルト 酒井富子



1 年前から指導いただいたにも関わらず直前まで暗譜に四苦八苦してましたが、当日は何とかこなしたつもりになっていました。幸い全体的には評判が良かったようで何よりと思います。こんなに沢山の曲を暗譜でこなすのは初めての経験でしたが、自分の中ではまだ記憶力がどうやら残っていたようで今後も歌い続けられそうです。

テノール 宮川哲雄

不安な気持ちで迎えた演奏会でした。年齢を重ねたせいでもあるのですが、暗譜がしっかりとできるまでの努力は今までに経験したことがないほどの道のりでした。また、昨年から新たに加わった仕事に関わる多忙さから心身ともに疲れていたのも理由かもしれません。合唱を続けていくことが自らのライフワークとして今日があるのですが、今後については悩むところです。それにしても素晴らしい演奏会だったことを皆様と喜びたいと思います。

テノール 酒井敏行

プログラムの先生の解説で、曲への理解がより深まった。

戦争を知らない子供たちのドラマチックな編曲、第 2 ステージのどの曲も良かった。

今年 8 月シベリア鉄道に乗り、日本人ゆかりの地を訪ねた。大虐殺のあったイワノフカ村など、日本が加害者でもあった現実を突きつけられた。墓参の旅でもあった。

又、一昨年仙台を旅して、震災の数々の爪痕を見てきた。復興への祈りは今後も忘れてはいけない事と思う。

先生の選曲が素晴らしく、色々な曲に出会えて嬉しい。又、プロの方々との共演はたえようのない贅沢な時間であつた。

お骨折り頂いた皆様に感謝申し上げます。

アルト 中畑チズ子

今回の演奏会で泣いた歌

「群青」は、娘が高校の時に南相馬市から避難の転校生がきたことや、東北の震災時のテレビの画像などを思い出し、練習中目が涙でうるんで、歌えなくなりそうになった。そのうちに慣れ、演奏会では泣かずに歌えたが、11月の初め、一宮第九の演奏会で名フィルさんがフルオケで群青を演奏され、山本さんのオーボエソロも素晴らしく、自然に涙が流れていた。

「虹と雪のバラード」は、最初歌詞を覚えるのに必死だったが、用事で演奏会前に行った札幌は、建物の一つひとつをはじめ、住んでいた 20 年前とはまさに生まれ変わっていて、～生まれかわる……～のあたりで嗚咽がこみ上げてきた。

歌とは、かくも突然に心を揺さぶることがあり、それに動揺する自分に驚かされる。

また次の新曲でも、心に響く出会いがあることをとても楽しみにしている。←ですます調をやめたら、すごく偉そーな文になったわ～～～

ソプラノ ハタノユキ

過去に何度も演奏会は経験したのに、今度ほど暗譜に苦労したことはありません。それでも何とか無事終ることができ、ホッとしました。

私にとっての次の機会があるか無いかわかりませんが、体力と気力が続く限り年令と戦って頑張りたいと思っています。

ソプラノ 若尾紀子

定期演奏会は、今回が初めてでしたが参加させていただき良かったです。

第2ステージでは慰霊の気持ちで感情を抑えて歌うのに精一杯でした。多くの曲を歌う機会がないので第3ステージで力尽きていながらも声を振り絞って歌わせていただきました。体力をつけれるよう頑張ります。

ベース 池戸利彦



今回渉外部長を引き受ける事になり、初めての事でもありとても荷が重かったのですが、団員の皆さんのお力で900名近くもの来場者を迎えることが出来ました。
これも一人一人の情熱と旭混声に対する期待の表れだと思います。
歌は、まず自分が感動しそれを聴いている人に伝えるものだと思います。
これからも心を震えさす曲を歌って行きたいです。

アルト 大沢泊子

とにかく楽しく歌えました。中途からの参加でしたが、久しぶりの学校合唱部の様な雰囲気も味わいつつ何とか暗譜もできて気持ち良かったです。でも練習の時は間違えなかったフォーレ2番が途中うん？という感じになり自分としては残念。
「復興ソング」も大好きでしたが、合唱初めて聴いたという友達は「戦争を知らない子供達」が胸にずっしりきて良かったと言っていました。
気持ち良く歌えて尚かつ聴きに來てくれた誰かの心に残る歌うたいたいですね。

アルト 村田美佐子

神谷先生の細かな指揮のなかで、歌う口の形が参考になり、いつもより声が出た気がします。緊張の中、時々男性の声が温かく感じられ、混声合唱の良さを感じました。

アルト 橋詰ひろみ

ヤッター完璧！！1ステを終え舞台裏に戻った時、思わず声に出していた。本番前は私もだが、歌詞や音程が定まらず、演奏会に多勢招いたのにどうしようと少し暗い気分だった。が、本番は1つに纏まり、心を込めて歌う事ができた。フォーレは練習不足でオケとソリストに救われたと思った。暗符はやはり大変で、私としては楽譜を持っていた方が時間の無駄が少なく心が込められると思うが、楽符に齧り付く人が居ては返ってマイナスか？

アルト 田坂千鶴子

先生方、皆さん、お疲れ様でした。長い人生、人脈も広がり、会場も瀬戸文化センターだったので合唱仲間が聴きに來てくれて嬉しかったです。永遠の花が終わった時の拍手脳理から離れません。しかし大切な方の別れがありました。松本さん一緒に歌いたかったです。今年6月に弟との別れもあり、復興の祈りの曲練習時、涙が出て悲しみに妙えた事も。でも歌う事が大好きです。先生すばらしい曲をご指導ありがとうございました。これからも良ろしく願いいたします。

ソプラノ 谷口千賀子

演奏会が終わってからかなり日にちも過ぎたので、何回か演奏を聴きました。
ソプラノの声に関していえば、録音機材の性能や場所の違いのせいか、良し！と思えたり、えーっ？と思えたり。
ソプラノはボイトレの時に、声に天井ができてしまうのを指摘されていたのですが、どのステージも前半はしっかり天井ができてしまっていたような気がしました。余分な力が入ってしまったのかなと思います。
虹雪や群青あたりからよくなってきたかな？
ソプラノの声が二分されているのでは？という感想を聞きましたが、私もそれを感じました。
だから、今後に向けて、ボイトレの回数を増やすことを希望します！
それから個人としては、ボイトレで教えてもらったことを、全体練習の時にもきちんと実行できるようにすることを目標にしようと思います！
良い声が出ないことには、せっかく神谷先生が曲を作っていこうとしても、残念！！てなことになっちゃうもんね…。
新しい曲が楽しみです！

ソプラノ 岩本純子



本番間近かまで音が取れていない箇所が多々あり、暗譜もふくめ不安でしたが、橋本先生とのパート練習等を特別に組んでいただいた成果でしょうか、本番ではベースの皆さんの声も頼もしく、反省点は多々ありますが良い演奏ができたなと思います。

特に第2ステージは暗譜に不安がありましたが歌詞の間違いもなくホットしました。

また、会社の新入社員の子が何人か初めて聞きにきてくれて、オケとのレクイエムに大変感激してくれましたが、高齢の観客の方が多し事にもビックリしたようです(笑い)

ベースも8名とメンバーが少なくなってきたおり、若返りもありますがまずは演奏会を聞きにきてくれた方が来てくれてメンバーが増え、次回の演奏会に向けて頑張っていけたらと思います。

ベース 酒井敦智

ごめんなさい項目 ●大汗に耐え切れず舞台上でござござ動きまくり見苦しいことこの上なし。●ソプラノとアルトをうろうろし、パトリや周辺の皆様に迷惑と混乱を。●衣装チーフを差し置いて出すぎ出しゃばり。みい子さん、すみませぬ。●チラシ・プログラム、毎度のことながら時間切れ、もっとイイモノができるはず。

みんなで反省項目 ●ほうれんそう(報告連絡相談)の徹底が不十分、わたしもあなたも。●演奏会は団全体で作るもの。成功・失敗は一人の手柄・一人の責任にあらず。今後も協力相互扶助希望。

泣ける項目 ●曲の最後に、響きがホールの天井に吸い込まれていった。上手い合唱団と同じ！●憧れだったフォーレが歌えた。●神谷先生が指揮者でよかった。また、タメでホントによかった(?)。

ソプラノでアルト 藤田みさき



同級生だよね

暗譜に苦労した、この有用性が解るだけに必死の思いでした。終って皆から“フォーレ好きよ”これ最高の褒め言葉ですね。自分の事ながらやり甲斐でした。

又、来場者の目が女性陣に向い放しの中で、男が(も?)良かったの評判に、正直嬉しかったですね。

さて、こゝ迄来てる旭混声！

神谷先生に、次も、この苦しみと喜びを、お願いしたい気持ちです。

ベース 橋詰喬

私の3回目の演奏会、無事に終わりました

思ってもいなかった甲状腺の手術、声が出ない、歌が歌えない思い悩み副団長に相談しました
「リハビリになるので参加してくださいと言われ、まだずっと歌っていきたくて思っていましたので演奏会の参加を決めました。

練習でも喉に無理があり、ソプラノの皆様にはご迷惑もかけ、励ましても頂きました

声は出せませんでしたが、旭混声合唱団の中で、第11回演奏会に参加できたこと大変感謝しております。団の中で私にとって学ぶことが多く、これからもよろしくお願いします。

ソプラノ 森ゆき子

今回の演奏会は歌った歌詞が自分と重なる所が一杯あり歌を歌える幸せを感じ私の合唱人生の中で一番感動したのになりました。先生はじめ旭混声の皆様には感謝です。

次の演奏会 神谷先生の選曲がすごく楽しみです、私は切羽詰まらなきゃ何も出来ません。二年後は余裕をもって早目に曲に取り掛かりたいと思います。

ソプラノ 中嶋道代



演奏会が終わりホッとしたというのが…今の心境かな ☺

一番に今回は暗譜もほぼほぼ出来て挑めたかな…♪

遠くに住む知人、近所の方、会社の同僚にも声掛けにも何の不安もなく誘う事が出来て…♪

これも 神谷先生をはじめコーラス仲間のチームワーク 演奏会に関わる全ての方々のご協力等々♪

感謝 ♥ 感激 ♥

此れからも歌える喜びに感謝を忘れる事なく次の演奏会に向けて、旭日混声の仲間と頑張ります

最後に一言 旭混声の仲間入りさせて頂いて有り難う

ソプラノ 紀平みい子

更に上を目指すことを望むなら今のままの発声では一つの声にまとまらないでしょう。とりあえず女声をまとめる為にS3人、A3人ずつの少人数でのアンサンブルの練習をし、他のグループのアンサンブルを聞きあって無記名でそのグループへの感想を書いてはどうでしょう。面と向かって言われるのは抵抗があるでしょうから。以前こういう練習をした経験がとても私には役立っています。曲は簡単で短いものでいいと思います(個人個人の直すべき点が見えてくるとと思います)。

ソプラノ 徳永信子

私にとってとても充実した演奏会でした。友人達も口々に思いが伝わる演奏だったと評価も高かったです。

今回夫を亡くして、改めて歌の持つ力を感じました。今までも歌詞の中にはふんだんに心打つ言葉があり、それを歌ってきたのに、今、歌が本当に自分に寄り添ってくれてる実感を感じるのです。夫と共に歌ってきたからかもしれません。こうして皆さんの輪の中で歌える幸せをかみしめています。

また今回の演奏会は夫の命日前で、ちょうど 1 周忌にあたりまして、夫が残したフォーレの楽譜にはたくさん書き込みがありました。ついこの間まで歌っていたんだなと不憫に思いましたが、1 周忌にこんな豪華なオケ付きのレクイエムを演奏してもらって、義明もさぞ満足でしょうと、私はちゃっかり皆さんに感謝をしています。神谷先生ありがとう！ 皆さんありがとう！

アルト 松本恵美子



HAPPY BIRTHDAY!!!